

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市戸畑区中原先の浜46-80

団体名 新日本熱学株式会社

代表者 代表取締役社長 櫻澤純

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	しんにほんねつがく	
団体名	新日本熱学株式会社	
(ふりがな)	だいひょうとりしまりやくしゃちょう さくらざわ じゅん	
代表者氏名	代表取締役社長 櫻澤純	
所在地	市内事業所	北九州市戸畑区 中原先の浜46-80
	主たる事業所	同上
事業概要	鉄工・化学・石油・ガスなどの基幹産業向け各種設備の設計、制作、据付、保全工事を行うプラントエンジニアリング会社	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	101～300人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.netugaku.co.jp	

































連絡先

担当部署	管理統括部 人事・総務課
担当者	中其瑞恵
電話番号	093-881-8841
メールアドレス	nakasono@netugaku.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット	具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組		
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)		 7.2	 9.4	 13.3	・クールビズ・ウォームビズの推進	ゴール ゴール13 ターゲット 13.3	指標 環境(1)② 具体的な取組 環境(2)ア
				7.2	9.4	13.3			
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)		 9.4	 12.3、12.5	 13.3	・全国に跨る16事業所の機密文書を循環型産業システムを導入している処理施設へ委託 ・紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別を徹底	ゴール ゴール12 ターゲット 12.5	指標 環境(2)① 具体的な取組
				9.4	12.3、12.5	13.3			
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }		 10.2	 12.2	 13.3	・事務所で調達している事務用品について環境経営に取り組んでいる企業(脱炭素社会実現、資源循環型プラットフォーム、生物多様性)に集約 ・事業で使用する資材を環境負荷に取り組んでいる企業からの調達に配慮	ゴール ゴール13 ターゲット 13.3	指標 具体的な取組
				10.2	12.2	13.3			
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)		 8.2	 9.5	 12.5	・QCサークル活動により品質改善・向上の継続	ゴール ゴール8 ターゲット 8.2	指標 具体的な取組
				8.2	9.5	12.5			
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)		 7.2	 9.4	 13.3	・CO2削減に貢献する製品・サービスの開発	ゴール ゴール7 ターゲット 7.2	指標 具体的な取組
				7.2	9.4	13.3			
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }		 3.4	 5.5	 8.8	・有給休暇取得率の目標値を設定 ・従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底 ・違法な30協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出 ・タイムカードや業務用PCの管理等により労働時間を正確に把握	ゴール ゴール3 ターゲット 3.4	指標 社会(3)① 具体的な取組
				3.4	5.5	8.8			
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }		 5.5	 8.5、8.8	 10.2	・女性活躍企業として、厚生労働省のえるぼし認定を取得 ・障がい者を積極採用し、その特性や経験を活かせる職場環境を整備	ゴール ゴール5 ターゲット 5.5	指標 社会(1)③ 具体的な取組
				5.5	8.5、8.8	10.2			
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }		 5.1、5.4	 8.8		・ハラスメント防止規定を整備し、社内に周知 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置 ・ハラスメントについての社内研修を実施	ゴール ゴール8 ターゲット 8.8	指標 具体的な取組
				5.1、5.4	8.8				
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)		 3.4	 8.8		・従業員に対して、定期的に健康診断を実施 ・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施 ・経済産業省の健康経営優良法人の認定を取得 ・社内において禁煙・分煙を実施 ・健康診断二次検査費用の会社補助 ・インフルエンザ予防接種費用を補助 ・コンプライアンス相談窓口を設置 ・産業医との積極的な面談を推進	ゴール ゴール3 ターゲット 3.4	指標 社会(3)① 具体的な取組
				3.4	8.8				
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)		 4.4	 8.2、8.6	 17.17	・資格手当や資格取得奨励金を給付し、従業員の取組意欲を高めている ・地域の大学生に事業において協業し、事業に携わる機会を設ける(インターンシップ制度) ・通信教育制度を導入(修了者、優秀修了者に対し6~7割を補助)	ゴール ゴール4 ターゲット 4.4	指標 具体的な取組
				4.4	8.2、8.6	17.17			
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)		 16.1、16.3、16.5			・個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知	ゴール ゴール16 ターゲット 16.3	指標 具体的な取組
				16.1、16.3、16.5					
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)		 11.b	 12.6	 13.1	・自社SDG担当者や本社管理統括部に設置 ・全国全16事業所にハザードマップ、防災グッズを配備し、災害時に全社員からの安否が確認できるシステムを導入	ゴール ゴール13 ターゲット 13.1	指標 具体的な取組 社会(2)ア
				11.b	12.6	13.1			

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 12月 24日
 団体名 新日本熱学株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

日本の「基幹産業」である鉄鋼、石油、電力、環境等の市場に対し『断熱』『鉄工』のサービスを提供し、社会インフラの維持と持続可能な社会づくりに貢献することでSDGsの達成を目指します。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	障がいの有無や年齢、性別、国籍による不当な差別を廃絶し、多様な人材が活躍できる環境構築を目指し、障がい者の雇用について現在の2名の定着化に取り組む。	指標 (KPI)	障がい者の定着化	指標
社会	○		目標値		社会 (1) ⑤
環境			その他 (その他の場合) (2025)年	正社員化	具体的な取組 経済 (2) ア
経済		健康経営優良法人認定企業として、二次検査費用額負担による疾病の未然予防による医療費削減と従業員の健康寿命延伸を目指す。	指標 (KPI)	・ 二次健診受診率 ・ 産業医意見取得率	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	全社員100%	具体的な取組
経済		廃棄されている(機密)文書の再資源化に北九州市内の事業場だけでなく全ての事業場で取り組み、事業活動に伴う環境負荷の軽減を目指す。	指標 (KPI)	リサイクル業者への委託率	指標
社会			目標値		環境 (2) ②
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	100%	具体的な取組

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野(経済・社会・環境)の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標(KPI)は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 新日本熱学株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
3 【SDGsクラブプロジェクト】 紙の循環から始める地域共創プロジェクト	・機密文書の100%再資源化
8 地域コミュニティ活動への参加	地域で開催されるイベントやお祭り、スポーツ団体に対する積極的な支援

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。